

# NEC iStorage NS27P Startup Guide スタートアップガイド



## はじめにお読みください

箱を開けてからサーバが使えるようになるまでの手順を説明します。このスタートアップガイドに従って作業してください。

## 安全に関するご注意

装置をセットアップする前に添付の「使用上のご注意」や、ユーザースタートアップガイド冒頭の「使用上のご注意（必ずお読みください）」をお読みの上、注意事項を守って正しくセットアップしてください。

## 警告

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。
- 雷が鳴り出したらケーブル類を含め装置に触らないでください。落雷による感電のおそれがあります。
- ご自分で本体装置の分解・修理・改造を行わないでください。

## 注意

- 水、湿気、ほこり、油、煙の多い場所、また直射日光の当たる場所に設置しないでください。
- 装置に添付されている電源コード以外を使用しないでください。
- 電源コードは指定の電圧、コンセントに接続してください。
- 電源コードはタコ足配線にしないでください。

## Step 1 添付品を確認する

梱包箱を開け、添付品がそろっていることを確認してください。

- 本体 x1
- 電源コード x1
- エアダクト x1
- スタートアップガイド(本書) x1
- 使用上のご注意 x1
- ソフトウェアパッケージ一式 x1\*1
- お客様登録申込書 x1
- 保証書 x1\*2
- ゴム足 x4
- デバイス用ネジ(PL-CPIMSX3X6X15BF) x4\*3
- 皿ネジ(CFIMSX 3X6X15BF) x2\*3
- フロッピーディスクドライブ用blankパネル x1\*3

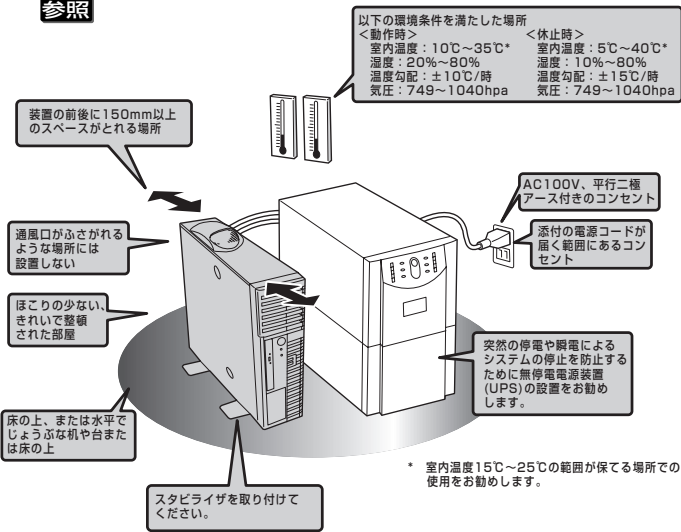
添付のCD-ROMやDVD-ROMは、再セットアップの時に必要となりますので大切に保管しておいてください。

- \*1 ソフトウェアパッケージの内容については、ソフトウェアパッケージ内の構成品表を参照してください。
- \*2 梱包箱に貼り付けられています。
- \*3 ご購入になった本体装置により、本体に実装されている場合があります。

## Step 2 適切な場所に設置する

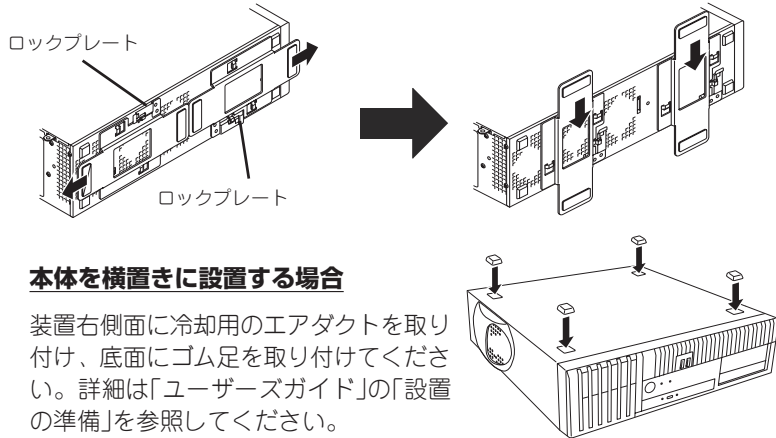
本体の設置場所を決めます。

「ユーザーズガイド」の第2章「セットアップ」を参照してください。



### 本体を縦置きに設置する場合

装置上面に冷却用のエアダクトを取り付け、ロックプレートを浮かせてスタビライザをいったん取り外し、図のように取り付け直してください。詳細は「ユーザーズガイド」の「設置の準備」を参照してください。



### 本体を横置きに設置する場合

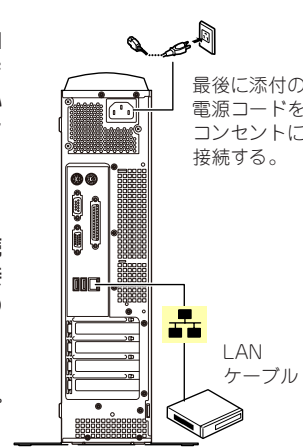
装置右側面に冷却用のエアダクトを取り付け、底面にゴム足を取り付けてください。詳細は「ユーザーズガイド」の「設置の準備」を参照してください。

## Step 3 ケーブルを接続する

ケーブルを本体背面にあるコネクタに接続します。

「ユーザーズガイド」の第2章「セットアップ」を参照してください。

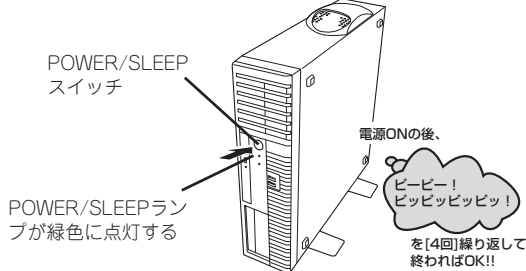
- 本装置に接続するケーブルは、LANケーブルと添付の電源コードのみです。その他のケーブルを接続する必要はありません。PCIスロットにオプションのNICを取り付けているときは、まず本体のLANポートコネクタのみに接続して初期設定を行い、設定完了後に残りのコネクタに接続してください。残りのコネクタに接続するときは、PCIスロット番号の小さい順に接続してください。
- 本装置への各種オプションの取り付け・取り外しは、本書で示すセットアップが完了した後に行ってください。



## Step 4 電源をONにする

電源をONにします。

- ① 本体のLANポートコネクタとネットワーク環境として使用するHUBにLANケーブルが接続されていることを確認する。
- ② POWER/SLEEPスイッチを押して、システムの電源をONにする。



システムの起動後、ビーブ音のパターン(ビーブ音を2回長く4回短く)を4回繰り返したら、正常に起動したことになります。

## Step 5 初期設定をする

管理PCからリモート接続できるようにするために、本装置の初期設定を行います。

出荷時にパスワードが設定されています(出荷時のパスワードについては、本装置に添付されているスタートアップガイドに記載されています)。

本体内蔵のLANポートに割り当てる情報として、「コンピュータ名」、「IPアドレス\*」、「IPアドレス用のサブネットマスク\*」を用意してください。

IPアドレスとサブネットマスクは、設定およびリモートデスクトップ接続を行うWindowsマシン(管理PC)と同じネットワークになる値にしてください。

設定を行うWindowsマシンおよび管理PCに、リモートデスクトップがインストールされていない場合は、事前にリモートデスクトップのインストールを行ってください。

リモートデスクトップは、Windows XP の OS 媒体に格納されています。または、マイクロソフト社のホームページ(<http://www.microsoft.com/japan/>) にアクセスし、「Remote Desktop Connection Software」のキーワードで検索して入手してください。

初期設定ツールからリモートデスクトップを起動する場合は、「C:\Program Files\Remote Desktop」のフォルダにリモートデスクトップがインストールされている必要があります。もし、別のフォルダにインストールしている場合は、以下の設定を行ってください。

初期設定ツールを起動した際にWindowsフォルダに生成される「iStorage NSSetup130.ini」というファイルを開き「RdesktopPath」に記述されたファイルパスを正しいリモートデスクトップのインストールフォルダに変更してください。

初期設定ツールの実行は、本装置と同じネットワーク上にあるWindowsマシン(Windows 2000+IE6.0/Windows 2003/Windows XP/Windows Vista)と添付の「EXPRESSBUILDER」CD-ROMを使用します。

詳細については、初期設定ツールのヘルプを参照してください。初期設定ツールを起動せずにヘルプを参照したい場合は、以下のファイルを開いてください。

「EXPRESSBUILDER」CD-ROMの  
¥004¥NASAP¥iStorageNSsetup.chm

- ① 任意のWindowsマシンの光ディスクドライブに「EXPRESSBUILDER」CD-ROMをセットする。

オートラン機能によりメニューが自動的に表示されます。表示されない場合は、光ディスクドライブ内の「¥autorun¥dispatcher.exe」を実行してください。

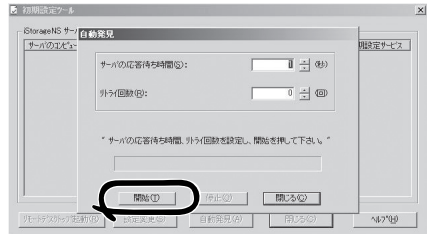
- ② [ソフトウェアのセットアップ]から[初期設定ツール]をクリックする。

初期設定ツールが起動し、エンドユーザライセンス契約(EULA)の確認画面が表示されます(初回のみ)。

- ③ EULAを確認の上、同意する場合は[はい]をクリックする。  
自動発見ウィンドウが表示されます。

- ④ [開始]をクリックする。

iStorage NSの一覧が表示されます。

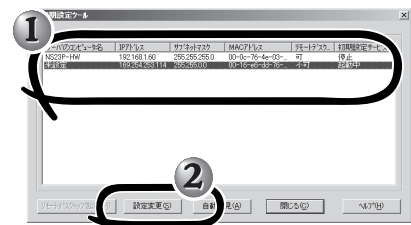


- ⑤ iStorage NSの一覧の中から、設定したい装置を選択する。

コンピュータ名が初期値のままの装置は、「未設定」と一覧に表示されます。

- ⑥ リモートデスクトップ起動の表示が「不可」の場合は、「設定変更」をクリックする。

表示が「可」の場合は、リモートデスクトップによる設定が可能となりますので、[リモートデスクトップの起動]をクリックしてください。[Step6 管理PCからリモートデスクトップ接続を行って設定する]を参照してください。



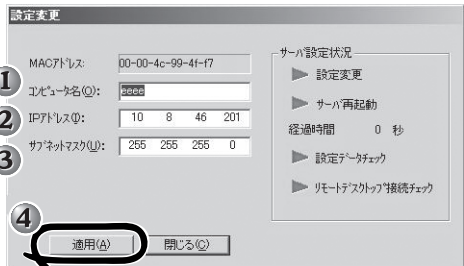
初期設定ツールからの設定変更を中断した場合、しばらく間を置いた上で再度自動発見を行ってください。

- ⑦ [コンピュータ名]欄にコンピュータ名を入力する。

ネットワーク上に同一のコンピュータ名を持つマシンが存在すると、設定変更後の再起動ができなくなります。コンピュータ名が重複していないことを確認してください。

- ⑧ [IPアドレス]欄にIPアドレス、[サブネットマスク]欄にサブネットマスクを入力する。

- IPアドレスの設定に間違いがあると、設定変更後の再起動や、管理PCからのリモートデスクトップ接続ができない場合があります。IPアドレスに誤りがないことを確認してください。
- 設定するIPアドレス/サブネットマスクは、初期設定ツールを動作させているマシンと同一ネットワークになるように設定してください。



- ⑨ [適用]をクリックする。
- ⑩ 設定変更を確認するウィンドウが表示されたら、[OK]をクリックする。
- ⑪ サーバ設定の変更が始まり、サーバ設定状況の内容が順次更新されます。

完了メッセージが表示されたら、[OK]をクリックする。

以上で、本装置の初期設定が完了し、管理PCからのリモートデスクトップ接続ができる状態になりました。

初期設定ツールにおいて、設定変更ができないなどの問題が発生した場合は、初期設定ツールのヘルプの「トラブルシューティング」を参照してください。

引き続き裏面をご覧ください。



➡➡➡➡ 表面からの続きです。

## Step 6 管理PCからリモートデスクトップ接続を行って設定する

本装置と同じサブネット上にあるクライアントマシン(Windowsマシン)で必要事項を設定します。

- 1

参照

設定方法の詳細については、ユーザーズガイドを参照してください。

- ① クライアントマシン上でリモートデスクトップを起動する。
- ② 接続先に本装置のコンピュータ名を入力する。

コンピュータ名での名前解決が出来ない場合は、コンピュータ名ではなくIPアドレスを入力してください。



## Step 7 パスワードを変更する

出荷時にパスワードが設定されています(出荷時のパスワードについては、本装置に添付されているスタートアップガイドに記載されています)。

- 重要

本装置のセキュリティを保つために、パスワードの変更は必ず行ってください。

## Step 9 iStorage NSシリーズのご利用にあたって

iStorage NSシリーズでは、保守サービスとして「PP・サポートサービス」を準備しており、技術サポートを有償にてサポートいたします。本サービスをご契約いただくと、電話や電子メールなどでのお問い合わせ、ご契約者様専用IDでのWWWサーバへのアクセスなどが可能となり、ソフトウェアのQ&Aや技術情報などをご覧いただけるようになります。また、ソフトウェアのリビジョンアップ情報などもご提供いたします。

「PP・サポートサービス」の詳しい内容については、以下をご覧ください。

<http://www.nec.co.jp/service/support/pp/index.html>

## Step 8 ESMPROをセットアップする

NECが提供するサーバ管理・監視ソフトウェア「ESMPRO®」のセットアップをします(その他にもディスクアレイを管理するソフトウェアなどがあります。詳しくは「ユーザーズガイド」を参照してください)。

本装置には、「ESMPRO/ServerAgent」と「ESMPRO/ServerManager」がバンドルされています。

### ESMPRO/ServerAgent

iStorage NSシリーズの内部温度やファン、ハードディスクドライブなどの状態監視やサーバに異常や障害が発生したときに自動的に本装置の電源をOFFにしたり、本装置監視用コンピュータ(管理PC)やページャへの通報などを行うユーティリティです。

- 1

参照

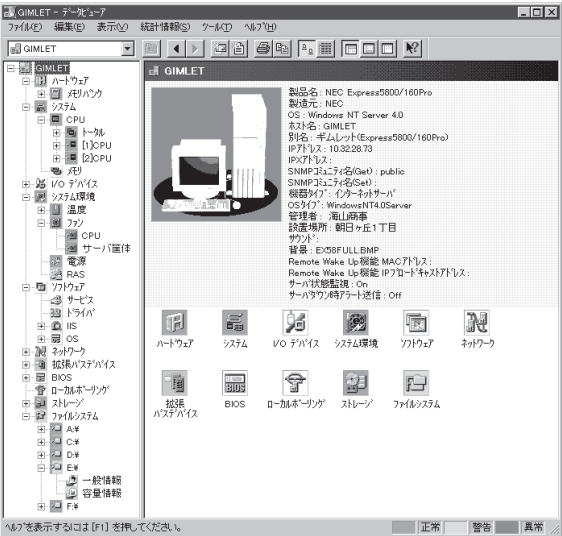
設定方法については、ユーザーズガイドを参照してください。

ESMPRO/ServerAgentをインストールした装置の状態は管理PC(ESMPRO/ServerManager)のディスプレイから右図のように確認することができます。

### ESMPRO/ServerManager

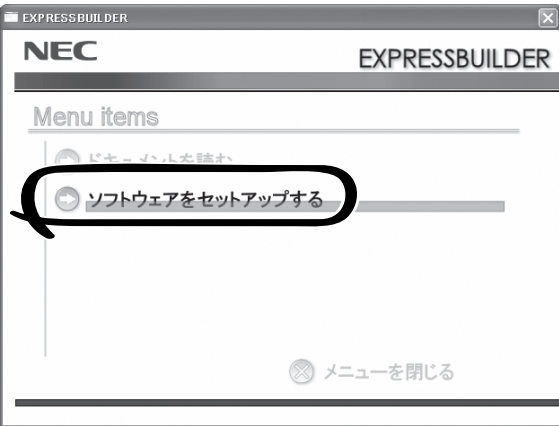
ESMPRO/ServerManagerはiStorage NSシリーズと同一のネットワーク上にある管理PCにインストールするソフトウェアです。

「EXPRESSBUILDER」CD-ROMを光ディスクドライブにセットして表示されるメニューから[ソフトウェアのセットアップ]→[ESMPRO]の順にクリックします。以降は、画面に表示されるメッセージに従ってください。



### iStorage NS連携モジュール

ESMPRO/ServerManagerがインストールされている環境にiStorage NS連携モジュールを適用することで、ESMPRO/ServerManagerより、リモートデスクトップ接続が起動できます。「EXPRESSBUILDER」CD-ROMを光ディスクドライブにセットして表示されるメニューから[ソフトウェアのセットアップ]→[iStorage NS連携モジュール]の順にクリックします。以降は、画面に表示されるメッセージに従ってください。



#### <お読みください>

- 本装置のシャットダウン操作について  
本体のPOWER/SLEEPスイッチを使って本装置をシャットダウン(電源OFF)しないでください。シャットダウンする場合は、管理PCからリモートデスクトップ接続し、シャットダウン操作を行ってください。UPSに接続している場合は、UPSの管理ソフトウェアを利用したスケジュールシャットダウンを利用することもできます。

- OS再インストールの前に  
OSの再インストールを行う際に、ディスクアレイ構成を変更したり、ベーシックディスクへ戻したりすると、ハードディスクドライブ上のデータはすべて削除されます。また、誤った手順を実行すると、ハードディスクドライブ上のデータがすべて削除される危険性がありますので、再インストール作業の前に、必ず必要なデータをバックアップ装置などにバックアップしてください。

- ディスクアレイ構成を変更した場合  
ディスクアレイ構成を変更した場合は、ユーザーズガイドを参照して、ディスクアレイコンフィグレーション情報のバックアップを行ってください。

- 電源制御機能の使用について  
本装置には電源制御機能をサポートしていないアプリケーションが含まれていますので、スタンバイ/休止状態で運用しないでください。

- 本装置のドキュメントについて  
管理者ガイドおよびユーザーズガイドは「EXPRESSBUILDER」CD-ROMに格納されていますが、改版されることがあります。最新版は以下にてダウンロードできますので、ご確認をお願いします。  
管理者ガイド : <http://support.express.nec.co.jp/care/user/adminguide.html>  
ユーザーズガイド : <http://support.express.nec.co.jp/care/user/istorage.html>

#### 商標について

ESMPROは日本電気株式会社の登録商標です。その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。  
© NEC Corporation 2008  
NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。  
このマニュアルは再生紙を使用しています。

NEC iStorageシリーズのホームページ  
<http://support.express.nec.co.jp/istorage/>

